

オバマ大統領の 2010 年度予算:概要(その 2)
～環境保護庁～

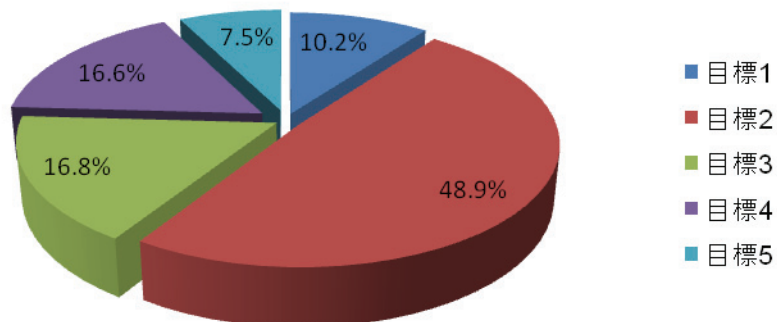
NEDO ワシントン事務所
松山貴代子
2009 年 6 月 24 日

IV. 環境保護庁

環境保護庁(EPA)の予算は、ブッシュ前政権下では毎年削減対象であったが、オバマ政権となつて、公衆衛生(public health)と環境課題への対応が重要性を増したことを反映し、2010 年度には 2009 年度レベルを 28 億 1,480 万ドル(7.2%)上回る 104 億 8,600 万ドルの予算要求となっている。予算増額分は、水資源インフラストラクチャーへの投資;淡水資源の保護;気候変動対応基盤の構築;研究ギャップの確認;化学物質管理といった重要分野に集中的に充当される見込みである。

戦略目標別の予算配分は、目標 1 の「クリーンエアおよび地球気候変動」が 2009 年度比 3.1%(3,260 万ドル)増の 10 億 6,980 万ドル;目標 2 の「クリーンで安全な水資源」が 78.4%(22 億 5,770 万ドル)という大幅増額で 51 億 3,730 万ドル;目標 3 の「国土保全と地力回復」が 1.7%(2,900 万ドル)増の 17 億 6,140 万ドル;目標 4 の「健全なコミュニティとエコシステム」が 38.6%(4 億 8,400 万ドル)増額で 17 億 3,840 万ドル;目標 5 の「遵守および環境管理」が 5.2%(3,890 万ドル)増の 7 億 8,910 万ドル^{注1}となっている。

2010年度のEPA目標別予算
(104億8,600万ドル)



(出典: FY2010 EPA Budget in Brief)

^{注1} 2009 年度の戦略目標別予算配分は、目標 1 が 13.5%、目標 2 が 37.7%、目標 3 が 22.6%、目標 4 が 16.4%、目標 5 が 9.8%であった。2010 年度予算から、EPA の最優先事項が目標 2 の「クリーンで安全な水資源」にあることが明白となっている。

EPA 予算のハイライト:

- ・ **州政府・部族政府支援グラント**(State and Tribal Assistance Grants)は 2009 年度比 74.9%(22 億 2,280 万ドル)という大幅引き上げで 51 億 9,130 万ドル。主要なプロジェクトは下記の通り:
 - **クリーンウォーター州政府回転基金**(Clean Water State Revolving Fund)の予算は 2009 年度予算(6 億 8,910 万ドル)の約 3.5 倍にあたる 24 億ドル。
 - **飲料水州政府回転基金**(Drinking Water State Revolving Fund)の 2010 年度予算は前年度(8 億 2,900 万ドル)比 80.9%増の 15 億ドル。
 - **大気質管理**(Air Quality Management)グラントは 250 万ドル増えて 2 億 2,660 万ドル。
 - 2009 年度に予算が約 3 倍に伸びた**ディーゼル排出削減グラント**は、2010 年度には前年度同額の 6,000 万ドルの要求。
 - **ブラウンフィールド計画**の予算は 300 万ドル伸びて1億ドル。
 - ブッシュ前大統領の廃止要求にも拘わらず、2008 年度(980 万ドル)と 2009 年度(1,500 万ドル)に議会審議で予算のついた**カリフォルニア州排出削減グラント**は、オバマ大統領の 2010 年度予算案においても廃止要求。
- ・ **気候保護プログラム**(Climate Protection Program)の予算は、2009 年度比 17.6%(1,950 万ドル)増の 1 億 3,060 万ドル。主要プログラムへの予算配分は下記の通り:
 - 温室効果ガス(GHG)規制の遂行活動、および GHG 関連のデータ報告を支援する **GHG 登録ルール**(GHG Registry Rule)の 2010 年度予算は 1,700 万ドル(+1,060 万ドル)。
 - **Energy STAR** プログラムの予算は 5,070 万ドル(+100 万ドル)。
 - **メタン市場化(Methane to Markets)パートナーシップ**は 2009 年度とほぼ同額の 460 万ドル。
- ・ 提案されている Cap-and-Trade 型 GHG プログラム(オフセット確認を含む)に分析面からの支援を提供する **Cap-and-Trade オフセット方法論**(Cap & Trade Offset Methodology)に 500 万ドルを計上(新規)。
- ・ 省庁間イニシアティブである**気候変動科学プログラム(CCSP)**に対する EPA 予算は 2009 年度より 300 万ドル増額されて 2,090 万ドル。
- ・ **再生可能燃料基準**(Renewable Fuels Standards)予算は前年度比 166.25%(1,330 万ドル)の大幅増額で 2,130 万ドルまで引上げられる。バイオ燃料混合率引上げの影響、及び、これら混合燃料を使う新型車や新型エンジン設計を評価するため、EPA アナーバー研究所の能力を強化することが目的。
- ・ バイオ燃料生産・使用に関連するリスクの理解を深める**バイオ燃料研究イニシアティブ**(Biofuels Research Initiative)の予算は 2009 年度には僅か 60 万ドルであったが、2010 年度には 560 万ドルまで増額。
- ・ ナノテクノロジーの環境・衛生・安全面(EHS)の影響を調査する**ナノテクノロジー研究**に対する EPA の 2010 年度予算は、ナノ材料含有製品の安全な開発・使用・リサイクル・処分に関する情報入手を拡大するため、140 万ドルの増額で 1,780 万ドル。
- ・ 上水道施設の汚染警告システムの実証・実験・評価を目的に 2006 年に開始された**水資源安全保障イニシアティブ**(Water Security Initiative)の 2010 年度予算は前年度比 58.0%増での 2,370 万ドル。
- ・ **スーパーファンド**予算は 320 万ドル増額されて 13 億 900 万ドル。